

「PM_{2.5}の現状と新たな自動車排出ガス規制」

微小粒子状物質 (PM_{2.5}) は 2009 年 9 月に環境基準が告示されて以来、大気中の濃度や動態、発生源などについて研究が進んできた物質です。自動車は PM_{2.5} の発生源の一つですが、排出ガス規制の強化に伴い発生源としての寄与は小さくなっています。大気中 PM_{2.5} の濃度も低くなり、近年の環境基準達成率は 90%を超えるようになりました。しかし、2021 年に世界保健機関が示した新たなガイドラインの値と比較するとまだ十分な安全なレベルとは言えない状況です。

本講演会は、大気環境のさらなる改善のために PM_{2.5} の発生源やこれからの自動車排出ガス対策、自動車からの排出実態について知見を得ることを目的としました。ご参加くださる皆さまのご研究に有益な機会となることを願っています。

開催日程： 6 月 21 日 (火) 13 : 10 ~ 17 : 10

開催場所： Zoom

※ Zoom のアクセス先と当日の資料は 6 月 16 日頃を目途にご参加者にメールでお知らせいたします。

参加費用： 無料

参加登録： ご参加をご希望の方は以下の登録フォームにアクセスしてお名前などをご入力ください。

<https://forms.gle/rNBrFKWYNXfsaVrH6>

登録〆切： 6 月 14 日 (火)

プログラム： 次頁をご参照ください

お問合せ： yokotaka1118@gmail.com (合同講演会事務局)

➤ タイムスケジュール

時間	演題名	講演者	所属
13:10	開催のあいさつ	柏倉 桐子	モビリティ環境分科会 日本自動車研究所
13:20	都市/郊外における PM _{2.5} 有機成分の比較と発生源寄与	熊谷 貴美代	都市大気エアロゾル分科会 群馬県 衛生環境研究所
14:00	自動車排出ガス低減対策における環境省の取組について	森山 真人 氏	環境省
14:40	PN 計測に関する議論、動向および自動車からの排出実態	山田 裕之	モビリティ環境分科会 東京電機大学
	(休憩)		
15:40	学生発表の紹介	戸野倉 賢一	モビリティ環境分科会 東京大学大学院
15:45	全量希釈型燃焼評価装置を用いた開放系燃焼場から発生する物質の定量化	桑原 優也	東京電機大学大学院
15:55	自動車給油時における VOC のリアルタイム排出挙動	山本 紘平	東京電機大学大学院
16:05	ガソリン直噴車のオフサイクル PN 排出特性	木村 汰知	東京電機大学大学院
16:15	ブレーキ由来粒子の排出基礎特性	針原 康輔	東京電機大学大学院
16:25	熱力学モデルによる自動車由来燃料蒸発ガス排出の推計及び感度解析	能村 弦太	東京大学大学院
16:35	広域大気輸送モデルを用いた光化学オゾン生成要因としての揮発性有機化合物の解析	伊藤 光一	東京大学大学院
16:45	中赤外レーザー吸収分光法による自動車排ガス中のイソシアン酸の計測	李 珉求	東京大学大学院
16:55	学生発表の総括	山田 裕之	東京電機大学 モビリティ環境分科会
17:00	閉会の挨拶	池盛 文数	都市大気エアロゾル分科会 名古屋市環境科学調査センター